



▲避難所スペースの使い方について話し合う子どもたち



▲子どもたちに三角巾の使い方を指導する保護者

地域の話題

和地校区

みんなで考える防災対策

1年を通して、さまざまな防災活動を行い
地域ぐるみで防災強化に取り組む和地校区コミュニティ協議会から
お便りが届きました。

地域発!

防災キャンプ

昨年夏。小学5・6年生と保護者・地域役員を中心に、学校を避難所と想定した生活体験を行いました。今後の和地校区の防災力の向上につながるよう、校区・学校行政が協力し、「子どもの防災教育」「校区の防災体制の再確認」の2つを重点に置きました。子どもたちは、より効果的な事業となるよう「田原市の防災対策」「避難所の健康管理」などをテーマに、事前学習を行いました。

応急救護・救急訓練では、保護者の皆さんが、子どもたちに三角巾の使い方や毛布を使った担架作りなどを指導しました。保護者の皆さんは、事前に地域の自主防災リーダーから指導を受けており、子どもたちへ指導す

るという責任感もあつて、救急救護に関しての理解がより一層深まりました。

このように準備の段階から二人ひとりが主体性を持って参加し、また、キャンプ初



▲事前の打ち合わせの様子

日の夜、校区住民の方も参加した「渥美半島の過去の地震や津波についての講演会」（講師・和地小学校藤城校長）を開催したことで、校区全体の防災体制の確認や防災意識の向上につながったと思います。

防災情報満載のファイル

秋。校区全域の地震・津波避難マッ

プや避難所生活の心得、災害に対する備えなどの資料を入れた防災ファイル



▲防災情報を見やすくまとめました

世帯に配布しました。関連する資料を1つのファイルにまとめたことにより、いざというときの対応を調べやすくなることができました。

また、老人クラブの会合などで防災ファイルの周知も行い、防災意識を高めようと働きかけました。

家庭への周知徹底を

冬。各家庭における防災や災害時の対応などについての意識高揚を図るため、今後の取り組み内容を検討しています。

まずは、地震対策などの制度紹介や、対策の効果などの周知を行っていかうと考えています。

和地校区では、さまざまな角度から住民への意識啓発を行い、校区全体で防災について考え、実践していく地域づくりを進めていきます。